

議会だより ふだい



岩手県普代村議会
No. 155
令和3年4月28日発行

村民の皆さんと議会を結ぶ情報誌。一緒に考えよう、この村のカタチ。

感謝と誇りを胸に



主な内容

- 気になる事業、予算グラフ 2頁～
- 決まった議案 4頁～
- 議案質疑、一般質問 6頁～
- 施政方針、その他 14頁～

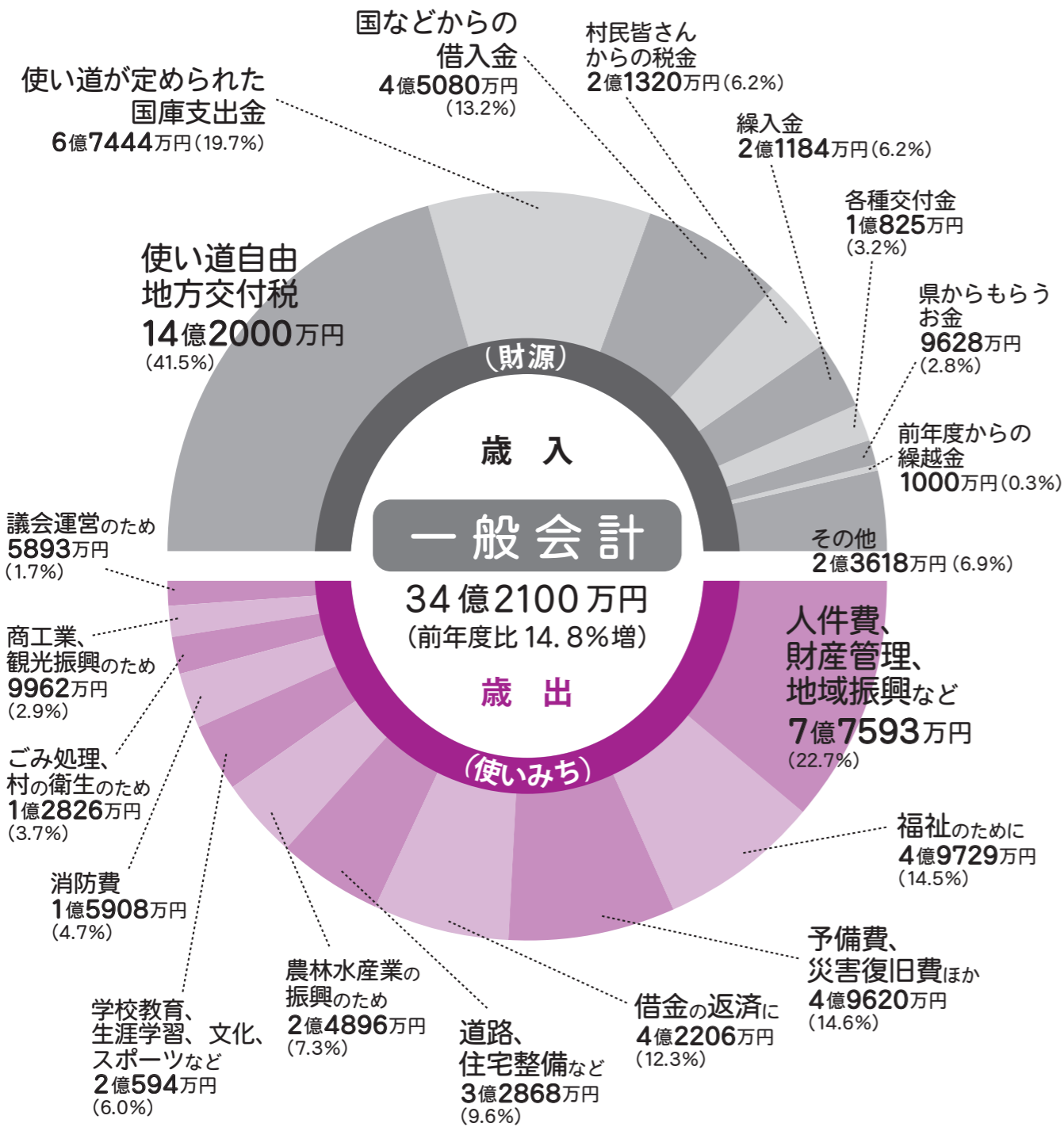
震災から10年。復興支援への感謝と
水門建設に携わった先人への誇りを胸に。

ピックアップ

令和3年度一般会計当初予算

気になる事業！

一般会計予算は34億円



特別会計の予算 8億8920万円 (前年度比4.3%減)

国民健康保険	国民健康保険診療施設	簡易水道	休養施設事業	漁業集落排水事業	後期高齢者医療事業
3億9850万円 前年度比4.9%減	2億710万円 前年度比8.2%減	9770万円 前年度比1.2%増	1億2450万円 前年度比5.8%減	2980万円 前年度比24.7%増	3160万円 前年度比1.9%減

旭日区地域活動拠点集会施設整備事業 (政策推進室担当) 5,862万円

老朽化した施設を解体し新たに建築するもの。新たな地域交流の拠点として、これまで以上に多くの方々の利用が期待されます。



黒崎園地修景改善工事 (農林商工課担当) 1,908万円

観光客受入れに備え、展望台やくろさき荘、キャンプ場など黒崎園地一帯の古い看板を撤去するなどの整備を行います。



公共土木施設災害復旧工事 (建設水産課担当) 4億9,500万円

台風第19号により被害を受けた馬場野机線、北沢線、普代田野畑線の3路線について、災害復旧工事を行うものです。



通行不能となった北沢線の道路

浸水対策ポンプ設置工事 (治水対策室担当) 8,385万円

上区の浸水対策のため、排水ポンプ2基を設置し、被害軽減を図るもの。本年度は設計監理と用地取得、土木工事を行います。



図書室付近にポンプ設置予定

その他、気になる事業 (新規・継続、事業規模問わず)

議会タブレット運用費	183万円
旧鳥茂渡小学校周辺環境整備事業	300万円
防災行政無線機能強化事業	462万円
地域おこし協力隊受入事業	2,305万円
新規漁業者育成協議会補助金事業	263万円
新魚市場建設検討委員会補助金	15万円
森林環境整備基金積立金	573万円
水産業活性化事業補助金	1,000万円
三陸沿岸道路(普代・野田)開通祝賀会実行委員会補助金	100万円
南浜住宅解体工事	1,150万円

定例会で決まった議案

議案番号等	議案	審議結果
議案第1号	3年度 一般会計予算	可決 (全員賛成)
議案第2号	3年度 国民健康保険特別会計予算	
議案第3号	3年度 国民健康保険診療施設特別会計予算	
議案第4号	3年度 簡易水道特別会計予算	
議案第5号	3年度 休養施設事業特別会計予算	
議案第6号	3年度 漁業集落排水事業特別会計予算	
議案第7号	3年度 後期高齢者医療事業特別会計予算	
議案第8号	2年度 一般会計補正予算(第15号) 補正額 2643万2千円を減額し、歳入歳出予算の総額を48億1630万4千円とする。	可決 (全員賛成)
議案第9号	2年度 国民健康保険特別会計補正予算(第4号) 補正額 1662万7千円を増額し、歳入歳出予算の総額を4億3704万1千円とする。	
議案第10号	2年度 国民健康保険診療施設特別会計補正予算(第6号) 補正額 535万1千円を減額し、歳入歳出予算の総額を2億3339万6千円とする。	
議案第11号	2年度 簡易水道特別会計補正予算(第6号) 財源の補正を行うため、歳入歳出予算の総額1億3300万7千円に変更はない。	可決 (全員賛成)
議案第12号	2年度 休養施設事業特別会計補正予算(第3号) 補正額 1132万2千円を減額し、歳入歳出予算の総額を1億2462万円とする。	
議案第13号	普代村地域活動拠点施設設置及び管理運営に関する条例の一部を改正する条例 茂市レストハウスの解体及び新設に伴い、公共施設として村が設置し管理運営をすることから、名称・位置を同条例に追加する。名称は「茂市地域活動拠点施設」。令和3年4月1日から施行。	可決 (全員賛成)
議案第14号	特別職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例 村長の令和3年4月支給分の額から1万100円を減額する一部改正。 村民税等の課税ミスにより発生した延滞金に充てる。	
議案第15号	普代村村営住宅条例の一部を改正する条例 令和3年1月に完成した上区地区住宅を同条例に追加する。面積は44.71㎡(約13.5坪)木造平屋建てで移住・定住者へ貸し出し予定。	可決 (全員賛成)
議案第16号	普代村立普代社会体育館及び普代村自然休養村管理センターに係る指定管理者の指定 社会福祉法人普代村社会福祉協議会を指定管理者とする。 期間は令和3年4月1日から令和4年3月31日までの1年間。	
議案第17号	普代村デイサービスセンター及びくろさき小規模多機能ホームの指定管理者の指定 社会福祉法人普代福祉会を指定管理者とする。 期間は令和3年4月1日から令和8年3月31日までの5年間。	可決 (全員賛成)
議案第18号	萩牛地区地域特産品生産施設の指定管理者の指定 萩牛地区自治会を指定管理者とする。 期間は令和3年4月1日から令和8年3月31日までの5年間。	
議案第19号	普代村高齢者活動施設及び普代地区ふれあい公園の指定管理者の指定 緑区地区自治会を指定管理者とする。 期間は令和3年4月1日から令和8年3月31日までの5年間。	可決 (全員賛成)
議案第20号	普代村郷土文化保存伝習施設の指定管理者の指定 ふだい荒磯太鼓の会を指定管理者とする。 期間は令和3年4月1日から令和8年3月31日までの5年間。	
議案第21号	普代村農林水産物直売施設の指定管理者の指定 産直とりも会を指定管理者とする。 期間は令和3年4月1日から令和8年3月31日までの5年間。	可決 (全員賛成)
議案第22号	黒崎地域活動拠点施設、黒崎農村広場施設及び黒崎農村公園の指定管理者の指定 黒崎地区自治会を指定管理者とする。 期間は令和3年4月1日から令和8年3月31日までの5年間。	

議案番号等	議案	審議結果
議案第23号	堀内机農村公園、堀内机地区構造改善センター、堀内地区漁村センター及び沢向地区コミュニティセンターの指定管理者の指定 堀内地区自治会を指定管理者とする。 期間は令和3年4月1日から令和8年3月31日までの5年間。	可決 (全員賛成)
議案第24号	芦渡地区多目的集会施設及び落合地区多目的集会施設の指定管理者の指定 芦渡地区自治会を指定管理者とする。 期間は令和3年4月1日から令和8年3月31日までの5年間。	
議案第25号	力持地区多目的集会施設の指定管理者の指定 力持地区自治会を指定管理者とする。 期間は令和3年4月1日から令和8年3月31日までの5年間。	
議案第26号	白井地区漁業研修施設の指定管理者の指定 白井地区自治会を指定管理者とする。 期間は令和3年4月1日から令和8年3月31日までの5年間。	
議案第27号	鳥居地域活動拠点施設の指定管理者の指定 鳥居地区自治会を指定管理者とする。 期間は令和3年4月1日から令和8年3月31日までの5年間。	
議案第28号	普代村観光センターの指定管理者の指定 株式会社青の国ふだいを指定管理者とする。 期間は令和3年4月1日から令和4年3月31日までの1年間。	
議案第29号	太田名部地域活動拠点施設の指定管理者の指定 太田名部地区自治会を指定管理者とする。 期間は令和3年4月1日から令和8年3月31日までの5年間。	
議案第30号	旭日区地域活動拠点施設の指定管理者の指定 旭日区地区自治会を指定管理者とする。 期間は令和3年4月1日から令和8年3月31日までの5年間。	可決 (全員賛成)
議案第31号	茂市地域活動拠点施設の指定管理者の指定 茂市地区自治会を指定管理者とする。 期間は令和3年4月1日から令和8年3月31日までの5年間。	
議案第32号	負担付きの寄附を受けることに関し議決を求めること 三陸鉄道株式会社より、令和元年度台風第19号で被災した村の線路設備5箇所分についての復旧工事が完了したことから、無償貸与の申し込みがあり負担付き寄附を受けるもの。	可決 (全員賛成)
議案第33号	財産の貸付けに関し議決を求めること 議案第32号の寄附により、鉄道事業用資産として村が無償で貸与するもの。 貸付期間は令和3年3月3日から令和3年3月31日までで、1年間ごとの更新となる。	
議案第34号	辺地に係る公共的施設の総合整備計画の変更 黒崎辺地の整備計画を変更する。村道黒崎港線と村道黒崎4号線の道路改良整備と、国民宿舎くろさき荘周辺の老朽化した建物の修繕等、黒崎園地の整備を図る。	可決 (全員賛成)
議案第35号	令和2年度その他村道普代茂市線道路災害復旧工事(1災319号)の請負契約の締結に関し議決を求めること 上記工事の請負契約を締結するもの。契約金額は8580万円、請負者は有限会社古沼建設。	
議案第36号	林道堤線災害復旧(1号)工事の請負契約の締結に関し議決を求めること 上記工事の請負契約を締結するもの。契約金額は5489万円、請負者は有限会社古沼建設。	同意 (全員賛成)
議案第37号	普代村固定資産評価審査委員会委員の選任につき同意を求めること 任期満了に伴い、現固定資産評価審査委員会委員の大村政義氏(太田名部)の再任に関し同意を求めるもの。期間は令和3年5月1日から3年間。	
議案第38号	普代村教育委員会教育長の任命に関し同意を求めること 任期満了に伴い、現教育長の三船雄三氏(緑区)の再任に関し同意を求めるもの。 期間は令和3年4月1日から3年間。	可決 (全員賛成)
発議案第1号	「安全・安心の医療・介護の実現と国民のいのちと健康を守るための意見書」の提出 新型コロナウイルスや新たなウイルス感染対策等のため、医療・介護・福祉の十分な財源確保、地域の声を踏まえた医療体制の充実、公衆衛生行政の拡充とウイルス研究体制等の強化、社会保障の国民負担軽減などを国に要望するもの。	

定例会での質疑

議案第26号

公民館の物資備蓄

大上浩史 議員



問 村に災害が起きた時、各地区にある公民館が避難所になる場合もあり、地区の人数に合わせた備蓄が最低限必要だと思う。道路不通により役場からの物資輸送ができない場合に備えた備蓄の考えを伺う。

答 川向総務課長

災害があった場合、全てを避難所として開設することは現在行われていない。今のところ食料品的な物の備蓄は考えていないが、今後こういった備蓄ができるか内部で吟味し、考えていきたい。

議案第27号

活動拠点施設の修理

金子泰男 議員



問 器具機材が破損・故障した場合の村の対応について伺う。

答 榎屋村長

例えばトイレトーパーとか洗剤等は地区で対応してもらいたい。そのほかのガラスの破損や水道の凍結など施設の不具合等の場合は、村で修繕していきたい。



施設の維持は、地域のみなさんの適切な使用によって保たれています

議案第21号

産直の体制支援を

中上一登 議員



問 産直とりも会の生産体制を村等でサポートし、商品を三セク「青の国ふだい」でも販売できないか。

答 榎屋村長

出品物には魅力がある。道の駅「青の国ふだい」オープンを見据えながら関係者等と協議していきたい。



道の駅となった普代駅。着々と工事が進められている

議案第22号

指定管理後の対応

大上智 議員



問 指定管理した施設を各課で見回りしているか。

答 榎屋村長

所管課によって対応にばらつきがあるため、管理委託した責任上からも課長会議等で話し合いながら取り組んでいく。



黒崎地区農村広場

定例会での質疑

議案第9号

診療所運営の内容

森田幸一 議員



問 へき地直営診療所運営の内容。

答 道下住民福祉課長

へき地診療所に対する赤字補てん分として1189万円（医科1002万円、歯科187万円）の計上となる。



三陸沿岸道路の工事業者撤退とコロナによる受診控えは、診療所の収入減に影響している

議案第15号

上区住宅の入居予定

嵯峨典行 議員



問 上区住宅は移住者用と聞いているが、入居予定はあるのか。また、台風等の災害により被害が予想される場所であるが、対策を考えているのか伺う。

答 大村建設水産課長

入居予定は4月着任予定の地域おこし協力隊の方1名、もう1戸分については森のようちえんの保育士を現在募集中でその方を予定している。

災害対策については、川から直撃する可能性があるため、擁壁かコンクリートの構造物を置くなど、今後検討する。

議案第8号

育児祝金の実績

正路正敏 議員



問 育児祝金は150万円減となっている。当初の見込みと実績は。

答 道下住民福祉課長

計画の15人に対し実績8名で、7名分の150万円を減額する。

議案第8号

移動支援の減額理由

古沼和也 議員



問 移動支援・日中一時支援事業補助金270万円減額の理由は。

答 道下住民福祉課長

当初予算で10名を見込んでいたが、実績見込み7名で3名分の減となる。

議案第9号

健康事業の実績

野場義時 議員



問 健康ポイント事業の実績は。

答 道下住民福祉課長

当初で100万円を見込んでいたが、実績見込みで90万円減額となる。



保健センターの事業参加でもポイントが付与されます

予算特別委員会での質疑

学校支援地域本部の内容

森田幸一 委員



問 文科大臣表彰を受けた学校支援地域本部とはどのようなものか。

答 三船教育長

コーディネーターを通じて学校の要望を70数名いるボランティアに伝え、環境整備や交通安全支援などをしていただいている。いわば地域に作られた学校の応援団である。



きれいに整備された花壇

職員採用の住所要件

中上一登 委員



問 上級事務や社会福祉士の職員採用は、採用後に必ず普代村に居住するという住所要件をつけている。この要件は人材の幅を狭めているように感じる。住宅を確保した上でやっているのか。

また、高卒採用を再開できないか。

答 川向総務課長

住所要件は一般職につけ、看護師などの専門職にはつけていない。地域振興的なところと防災上の観点から要件を付けている。住宅を確保するところまではいたっていないが、空き住宅の照会を行っている。

答 証屋村長

職員比率は大卒と短大卒が55%、高卒45%となっている。タイミングを見ながら検討したい。

園地修景改善の内容

金子泰男 委員



問 黒崎園地修景改善工事の説明。

答 山崎農林商工課長

くろさき荘旧別館の解体跡地にバリケードを置いているが、その安全対策のために擬木を設置する。そのほか、くろさき荘の入口にある休憩ハウスの解体や入口標識の改修を行う。

南浜住宅跡地の活用

大上浩史 委員



問 南浜住宅を解体した後、将来的な有効利用をできないか。

答 大村建設水産課長

住宅の背後地が危険箇所になっており、その防護施設を改修しながら棟数を減らして住宅を建設するなど、跡地利用を検討したい。

鳥居の道路改良

正路正敏 委員



問 力持から上がってグリーンロードにつながる道路の見通しが非常に悪い。そこをどのように考えるか。

また、神社のトイレ裏は少しの雨で土砂が多く流れる。道路新設などできないか。

答 大村建設水産課長

見通しの悪さについては、カーブミラー設置を検討したい。

神楽殿後ろの排水対策は村政懇談会でも話が出ており、箇所をしばらくしながら順次進めていきたい。

令和3年度の当初予算案を審査



大上 智 予算特別委員長

予算特別委員会（大上智委員長と委員8人）は3月3日から5日までの3日間開かれました。予算特別委員会は議長を除く議員9人で構成され、村から提出された次年度予算を審査しました。その中の質疑と答弁を抜粋してお知らせします。

予算特別委員会での質疑

森林環境整備贈与税の活用

古沼和也 委員



問 森林環境整備贈与税は今後どのように活用するのか。

答 山崎農林商工課長

森林所有者に対して森林の管理を今後どうやって進めていくか、アンケート調査を行う。それ以外の分は基金造成を行っている。

黒崎園地伐採業務

嵯峨典行 委員



問 黒崎園地周辺伐採業務委託料350万円の中身について伺う。

答 山崎農林商工課長

黒崎周辺は道路から海が見えない状況にある。例えば、くろさき荘のお風呂からも木が邪魔をして海の景観が見えないため、そういった景観をよくするためのもの。



くろさき荘から見た太平洋の景色

子育て利用給付費の内容

野場義時 委員



問 子育てのための施設等利用給付費の内容。

答 道下住民福祉課長

令和3年度から開始予定の認可外保育施設（茂市、森のようちえん）の保育料無償化に係る給付事業となる。

将来を見据えた市場を

大上浩史 委員



問 新魚市場の建設にあたり、漁業の衰退や人口減少など30年後の若手県沿岸の市場はどうあるべきなのか、専門家の知恵を取り入れ、将来を見据えた状態で進めてほしい。

答 証屋村長

先々の漁獲量、とれる魚種、業者の考え方等も見ながらやっていかなければならないと思っている。



担い手不足が懸念される漁業



中上一登

防災の取組状況

排水ポンプの設計を行う

榎屋村長

質問 令和元年の台風第19号被害は、防災、減災対策の重要性と危険箇所を把握することの重要性を思い知らされた災害となった。
令和元年12月定例会で普代川、茂市川への排水ポンプ設置要望、砂防ダムの改良や河川管理、そこへつながっている海への影響等を質問し、検討するという答弁であった。その後の取り組み状況を伺う。

答弁 榎屋村長 上区の排水ポンプは、順調に進めば新年度に詳細設計とポンプ場の土木工事まで行いたい。
旭日区の排水ポンプは、まずはフラップゲートを設置して効果を確認し、排水ポンプの設置が必要か否かを県と協議することとしており、フラップゲートの設置工事は間もなく完了となる。

来年度、県で堆積土砂の撤去を行うこととしており、終わった段階で鋼製枠設置が可能か検討をする。
力持川は撤去しなければならぬ部分がある所残っており、順次進める予定としている。
それから、小屋敷建築さんの作業場沿いの沢は、県で緊急治山工事を着工している。

河川管理全般のことでのご指導については、施設の老朽化や不法投棄等があるため、これらの点検・見回りを強化して取り組んでいきたい。
質問 普代川や茂市川のポンプの設置について、住民の方々に少しでも進行状況を伝えていただく方が不安の解消になるのではないかと。
答弁 榎屋村長 県とも相談をして、順調にいけば6月中旬に説明会を開きたいと思っている。



川底が削られるのを防ぎ、水の流れを遅くする不透過型砂防堰堤



川底が削られ、のり面が崩れた状態

質問 沢川に流木が多くあり、漁師の方からも景観が悪いとの話がある。砂防ダムの鋼製枠は山から流れてくる流木を防ぐ意味もある。どういった改良になるか。
答弁 榎屋村長 景観上、好ましくないもので、県と相談し協議したい。改良内容については、掘削してみなければ分からない状況である。

シルバー人材の収入増

実情に応じた予算措置

榎屋村長

質問 シルバー人材センターの会員の方々は、村道の草刈りや清掃、また個人からの依頼によるさまざまな仕事等、多岐に渡っている。シルバー人材センターの仕事の大半は村からの依頼によるものと聞いているが、金額の支出

を少し増額して会員の収入増を図る考えはないか伺う。
答弁 榎屋村長 委託金は道路担当課で所要の作業量を見込みながら予算を確保し、順次作業をして予算不足の場合には補正増額をし、過分だった場合には補正で減額

をしている。委託作業量や金額の増については、例えば道路利用にあたり、村民の安全・安心な利用に支障があり、作業延長が必要との指摘をいただければ、担当課の方で適切な範囲で予算措置をする。

気が高いマツタケが非常に多く採れるなど特別な状況であった。これをベースに長期施策の財源を固めるには慎重にならなければならぬ。子育て世代の負担軽減の在り方とふるさと納税や財政状況などを見極めつつ、検討したい。



シルバー人材センターの作業によりきれいに整備された黒崎園地

嵯峨典行

質問 ふるさと納税は、令和元年度約7000万円、令和2年度直近で約2億2000万円と聞いている。この財源を用い、子育て支援と高齢者福祉に重点を置いていただきたい。そこで、高校生の通学定期券の補助、また下宿代の補助ができないか伺う。
答弁 榎屋村長 ふるさと納税は、寄付者が納税の用途を指定して寄付した場合、その分野の事業に使わなければならない。指定ありは70.4%で、そのうちの人づくり・教育に27%の3000万円が指定されている。本年度は返礼品として人

質問 一般大学、専門学校について返還がいかない給付型奨学金の支給ができないか。
答弁 榎屋村長 村で確保が難しく、どうしても必要な人材の確保・育成に力を注いでいきたい。その見通しが順調な状況になれば検討をできると思っている。
質問 高齢者の医療費を一部でも補助できないか伺う。
答弁 榎屋村長 医療費の軽減については村だけでやると国で非常に厳しい見方をしているため、十分に勉強して調査もした上で取り組んでいかなければならない。

ふだい議会だより No.155
令和3年4月28日発行



金子泰男

コロナ対応策は

県と連携し対応

榎屋村長



コロナ対応をする保健センター



空き体育館となっている元黒崎小学校体育館

質問 全国的にコロナ感染症の患者が急拡大している。普代村もいつコロナ感染症の患者が出てもおかしくない状況にあり、コロナ対策は喫緊の課題である。村民の安全・安心につながるため、どのような対応策を検討しているか伺う。

答弁 榎屋村長 新型コロナウイルスの泊療養施設は、病床などと

合わせて都道府県において準備される。岩手県では「まん延期」対応で民間宿泊施設を300室確保する方針で、県と連携しながら村が行うべきコロナ対策に万全を期してまいりたい。普代村でのワクチン接種の時期について、4月末ごろから65歳以上への優先接種が始められ、2回の接種が終わる7月下旬以降からは一般の方にも進められる

ものと予測している。村民の皆様には、冷静な対応をいただきながら、ワクチン接種へのご理解とご協力を賜るようお願いしていく。

質問 県内の学校でクラスターが発生している。中学校、小学校、子ども園で感染者が1人でも出れば、感染拡大につながってくる。予防対策について、村民にどのような

なお知らせをしているのか。道下住民福祉課長 ご指摘のクラスターの発生源は関連する大人の行動範囲によるもの。毎週土曜日には防災無線と告知端末で放送をしている。そのほか、チラシ等でも予防の徹底をお願いしている。

質問 長寿社会になった今日、自ら健康づくりに取り組みたいと意欲を燃やしている高齢者がいる。村に高齢者向けの健康増進施設はないが、元黒崎小学校体育館の活用を検討してみているか伺う。

空き体育館活用

答弁 榎屋村長 老いても健康でありたいことは、ご本人やご家族、みんなの願いであり、高齢者が自立した活動をされる姿は、村全体の元気につながる。提案をいただいた件については、体育施設の活用度や効果などを勉強したい。

水産業活性化の協議・研究は

漁協の効果調査と連携

榎屋村長



大上智



黒崎展望台から見た太平洋。最高の景色だ

質問 毎年、水産業活性化のために補助金を支援しているが、未だに目立った成果が出ていない。漁協等関係機関と放流の成果を上げるための協議・研究は毎年されているのか。

答弁 榎屋村長 水産業活性化補助事業は、村が単独補助しているもので、これまでの放流成果を期待したものの、全国的な磯焼け等の諸要因

により、水揚げ増に結び付いていない。村としてはこれからも漁協の放流効果調査などを受けながら、漁家の所得向上、磯漁業の活性化を支援していく。

質問 普代ブランド品創出において、昔ながらの普代特有のもの、再発掘・再発見に力を入れ、ブラッシュアップしたものを使用する戦略支援を講じたらどうか。

答弁 榎屋村長 ブランド商品は、他地域との重なりなど苦戦続きである。普代の伝統や文化に息づくものを活用した商品開発等にも関係機関と共にチャレンジを続ける。

質問 本村の目玉観光資源は自然景観であり、「みちのく潮風トレイル」等のオープンフィールド観光、またラジオ放送「青の国から」のPR放送など種々の施策事業を行っているが、三鉄・観光バスの乗り継ぎ地という域を脱していないように感じられる。「青の国」の大絶景をもっと前面に押し出し、食

社、浜園地キラウミ、まついそ公園、割沢鉄山染道の駅「青の国ふだい」（仮称）を中心とした商店街イベント等とくろさき荘・みちあい民宿と連動した周遊観光戦略を推進するべきと考えるがいかがか。

答弁 榎屋村長 現在、コロナ禍での影響はあるが、これまでの観光力を伸ばすよう取り組んで村内各地の周遊地において景色や食、伝統と文化での体験と癒しをもって入り込み客数を増やし、滞在時間を延ばして宿泊にもつなげ、村民全員がもてなす「青の国」創生に一層取り組む。

堀内用地交渉の進展

質問 堀内郵便局前の路線を含め、村内に点在する側溝・通学路の補修が進んでいない。緊急時、児童の登下校時の安全確保に支障をきたしている。改修において、地権者との用地交渉の見通しは。

答弁 榎屋村長 現在も交渉中となっており、村民皆様にご不便をおかけしているところであるが、諸課題を1つずつ解決しながら、1日でも早く着工できるように引き続き、鋭意努める。

2/5 第1回臨時会

審議した案件は、令和2年度一般会計補正予算（第13号）の専決処分と一般会計補正予算（第14号）、令和2年度簡易水道特別会計補正予算（第5号）の3件。全員賛成で承認・可決しました。

▽令和2年度一般会計補正予算（第13号）の専決処分に関し承認を求めることについて
補正額178万8千円を増額し、総額を47億6238万3千円としました。

歳出では、茂市コミュニティ助成事業補助金皆増140万円と普代村地域企業経営継続支援事業費補助金38万8千円を追加しました。



完成した茂市地域活動拠点施設。住民交流の拠点として期待されます

▽令和2年度普代村一般会計補正予算（第14号）

補正額8035万3千円を増額し、総額を48億4273万6千円としました。

歳出では、主に感染症対策費1719万円と林道災害復旧工事6100万円となります。

林道災害復旧工事は、林道堤線に係る工事費となります。

▽令和2年度簡易水道特別会計補正予算（第5号）

補正額200万円を増額し、総額を1億3300万7千円としました。

歳出では、メーター交換料や水道用メーターの原材料費など70万円の減額のほか、白井簡水配水管布設替工事に係る費用270万円の増額となります。

野場義時氏が死去

令和3年4月1日、野場義時（のぼよしとき）副議長が71歳で永眠されました。野場副議長は、普代村役場職員を退職後、平成27年に普代村議会議員に初当選し、現在2期目でした。簡潔明瞭な議案質疑と情熱を持った議員活動で村の発展に尽力されました。また、温厚な人柄と素敵な笑顔で誰に対しても優しく接していた姿が印象的でした。

謹んでご冥福をお祈りいたします。



村民の皆さんにお知らせしたい 杵屋村長の施政方針



総合戦略の推進

本村の魅力などをしっかりと発信していく中で、地域外からもその魅力を生かして村内で働く人を集め、産業・経済の好循環づくりに資してまいります。

「移住者誘致と持続可能な普代村の創出事業」では、仕事モデルの創出、移住者の誘致と伴走支援に取り組みます。

地域おこし協力隊は、株式会社青の国と茂市の「森のようちえん」への民間委託（3名）と行政配置（2名）の5名体制。

また、解体後に新築とする旭日区活動拠点施設の整備や、産業・経済の好循環づくりにも寄与するふるさと納税事業の積極的な推進にも取り組みます。

ワクチン接種の推進

今後も変異ウイルスによるリバウンドも懸念されます。本村でも気を緩めることなく、マスクの着用、手洗い、せきエチケット、三密の回避などの基本的な感染防止対策の徹底が図られるよう啓発などに努めます。

また、4月末頃から本格実施予定のワクチン接種を円滑・迅速に推進するように相談窓口などの設置も行いつつ、万全を期してまいります。

安心して暮らせる環境

小児・産婦人科オンライン健康相談委託や検診受診奨励、並びにその一部負担免除、人間ドック受診助成などを行いながら、健康増進意識の向上に資する健康ポイント事業も実施し、生活習慣病予防や健康長寿命化に取り組みます。また、インフルエンザ等予防接種の無料化等も継続してまいります。

高齢者保健福祉は、直営化2年目となる地域包括支援センターの充実を図りながら、生活支援ハウスや小規模多機能ホームなどへの運営助成、看護・介護職養成の奨学金貸与などを行います。なお、合同敬老会は、昨年と同様に敬老お祝いクーポン券事業で対応させていただきます。

活力ある産業を育てる

水産業において、新規漁業就業者確保事業や磯資源回復事業を行いつつ、漁港施設では、県事業で太田名部の北護岸・導流堤・護岸、白井の荷役クレーン、沢の北防改良の取り組みを進めます。新魚市場は、管理運営に関する詳細検討や静穏度の確認も行いつつ、令和4年度に実施設計を予定します。

農業は、和野山地区での畑地湧水処理を行うとともに、ハウレン草での価格安定対策や土壌消毒等、寒じめ等の種子購入、オイスターリーフ・スイカ・ニンニク等の新規作物チャレンジへの助成を行います。

商工業は、プレミアム付き商品券の発行事業や青の国ふだいブランド商品の販売促進を支援します。また、商工業者の資金確保預託と商工会の経営指導支援を継続します。

安全で快適な環境

住宅整備は、力持住宅の修繕を行うとともに南浜住宅の解体工事を進めます。

ご不便をおかけしております普代橋の補修・補強工事の8月末完成に鋭意取り組みます。

災害支援への感謝とこれから

東日本大震災から10年が経過いたしました。その後、平成28年台風第10号と令和元年台風第19号など経験したことのない被害を受けましたが、同時に多くの支援をいただきました。自衛隊やボランティア、市町村、団体などから多くの支援をいただいたことに心から感謝いたします。

皆さんは、自助・共助・公助という言葉をご存知でしょうか。村の防災マップに書かれている言葉で、「自分の命は自分で守る」が防災の基本だとされています。もし自分が避難をするとしたら、という想定を定期的に行い、いつ来るか分からない災害に備えておくことが大切です。

これまでにいただいた支援への感謝を胸に、普代村の未来を全員で考えていきませんか？



あ と が き



▼3月定例会も無事終わりました。予算特別委員会では、各議員、白熱した意見が数多く出され、充実した委員会でした。4月1日、野場副議長がお亡くなりになりました。野場議員とは同期当選組で約6年間公私ともども大変お世話になり、あの優しい笑顔が忘れられません。心よりご冥福をお祈りいたします。

(嵯峨典行)

▼野場副議長の突然の訃報残念でなりません。我々議員、微力ながらも、これまでご指導いただいた議員のご意思を受け継ぎ、村政に反映できるよう精進せねばと心に誓ったところでございます。野場さん、これからもどうぞ傍聴席より見守り、ご高察ください。献盃。

(大上 智)

議長 中村 裕

議会広報常任委員会

委員長 嵯峨 典行

副委員長 正路 正敏

委員 大沼 和也

古沼 和也

今回の「議会だより」は、いかがでしたか。皆さんの声をお待ちしています。一緒に考えよう この村のカタチ。

ふだい議会だよりはスマートフォンでもご覧になれます。



■発行日 令和3年4月28日 ■発行 普代村議会 ■編集 議会広報常任委員会
〒028-8392 岩手県下閉伊郡普代村第9地割字銅屋13番地2
TEL 0194-35-2118 FAX 0194-35-2712